

2014年の初めに

14.01.10 守山裕次郎

一昨年末、史上最悪だった民主党に自民党が大勝利して安倍政権となったが、わずか1年間で、これほど劇的に経済が活性化した例は過去あっただろうか？ちなみに日経平均株価はこの1年間で57%も上昇したが、これは実に41年ぶりの上昇率だそうである。

10年間以上も続いたデフレからの脱却を目指し、昨年度の流行語大賞の候補にもなった「アベノミクス」の3本の矢について議論は様々あるが、現時点で少なくともその方向性は正しいようである。勿論この結果は日本単独の努力だけでなく、特に米国経済の活性化（昨年、ダウ平均株価が過去最高を記録）の影響も大きかったことは間違いないが、改めて民主党政権のダメさ加減が見事に証明されたと言えるのだろう。

加えて、昨年は2020年のオリンピック開催が東京に決まり、富士山が世界文化遺産に、和食が無形文化遺産に指定されたが、今後益々世界の目が日本に集まるのは間違いない。中でも、特にオリンピック誘致の成功は明るい話題であった。我々老人は二度目の大会を見るため、それまで元気でいようとの意欲が湧き、若者たちは各種競技への出場を目指し頑張ることを考えると、単に経済面だけでは計れない極めて大きな効果が期待される。

それにしても、オリンピック誘致活動の主人公の一人であった猪瀬都知事の辞任劇は、実にお粗末であった。徳洲会からの5千万円授受の説明内容はしどろもどろで支離滅裂、追及される姿は見ていて気の毒なほどであった。彼は菅元総理と同様他人を攻撃するのは得意だが、逆に自分が追及されると全くダメなタイプで、その往生際の悪さも一層印象を悪くした。近々誕生の新都知事のもと、2020年に向けての早急な体制整備が望まれる。

同じくオリンピック誘致のプレゼンで有名になり、流行語大賞にもなった「おもてなし」ではあるが、無形文化遺産にも指定された和食で外国人を「おもてなし」する際、食材が偽装だったのでは、「どこかの近隣諸国」と同じと言われても返す言葉がなく、その意味でこの食材偽装も大きな話題となった。阪急阪神ホテルズに端を発したこの問題、発覚時に社長が「偽装でなく、誤表示でした」と釈明、これが火に油を注ぐ事態となってあっさり辞任、これをきっかけに有名店を含め次から次へと偽装が発覚し、恒例の「雁首並べての謝罪会見」オンパレードとなった。恐らくこの業界は「赤信号、みんなで渡れば怖くない」が常識で、知らぬは客ばかりだったと思えるが、これを機に業界全体には猛省を促したい。

その他、昨年も様々な事件事故が発生したが、中でも看過できないのはJR北海道による不祥事であった。何年か前トンネル内での火災事故があり、それを苦にして当時の社長が自殺した頃から何か変だとは感じていたものの、昨年発生した貨物列車の脱線事故の原因究明過程で判明した事実を知ると、この組織は「腐りきっている」としか言いようがない。例えば、運転士がハンマーでATSを壊した事例も信じられないが、何より最悪なのは現場のデータを改竄し、補修せずに放置していた線路が100カ所近くもあったことである。彼らはデータ改竄や未補修の結果、大事故が発生し多くの犠牲者が出た場合の恐ろしさを

想像できないのであろうか？正常な感覚の人間であれば、心配で夜も眠れないと考えるが、この組織は安全を確保する責任感が上から下まで全く欠落している。事ここに至るまでの国交省の監督責任問題も含め、抜本的な見直しによる体制、体質の改善が急務である。

これら国内問題もさることながら、一転海外に目を向けると近隣諸国、特に中国、韓国の異常さが益々顕著になった年でもあった。特に韓国の朴大統領は「女鳩山」とも呼ばれるほどに空気が読めず、我が国に対するストーカー的言動は異常としか言いようがない。

いわゆる従軍慰安婦問題は最近の産経新聞のスクープにより、ねつ造だったことが判明したが、その慰安婦像を米国（カリフォルニア州）にまで建立させる神経は半端ではない。更には、伊藤博文を暗殺したテロリスト「安重根」の銅像を暗殺現場の中国ハルビンに立てられるよう習近平に申し入れるに至っては、ほとんど病気の類としか考えられない。

伊藤博文は我が国の明治の元勳であり、かつて千円札にも載った人物である。加えて、朴大統領は両親がともにテロリストによって殺害され、その行為がいかに卑劣なことか身を持って体験しているはずであるが、その上での彼女のこの感覚は全く理解不能である。

韓国の異常さは単に大統領だけでなく、1) 対馬の寺から盗んだ仏像を返却しない判決 2) 国家間で決着済みの「戦後徴用賠償」の蒸し返し 3) 南スーダンでの実弾1万発の緊急支援にも感謝なし等、諸々あるが、世界の常識が全く通用しない国柄のようである。

このように過去に執着し、反日に徹する「ストーカー的国家」とも言える韓国に対し、中国は「ヤクザ的国家」と言えるのではなかろうか。尖閣問題など、中国には何一つ道義的主張などなく、その論理は最初から破綻しているにもかかわらず、反日暴動、領海侵犯、領空侵犯を繰り返し、ついには「防空識別圏」を一方的に通告し、その中に尖閣上空まで含めてしまった。南シナ海での東南アジア諸国との紛争も含め、力を背景とした1世紀前の帝国主義そのものである。我が国は世界に向けて堂々と正論を主張し、理解を得るための努力とともに、自国は自分で守る気概を持ち、防衛力の更なる強化が喫緊の課題である。

年末に安倍総理が靖国神社を参拝した。案の定、中国、韓国からの猛烈な反発に加え、朝日新聞を筆頭とする左翼系反日マスコミによる非難が集中した。いわく：近隣諸国への配慮が足りない、戦前の軍国主義に戻るのか等々、毎度お決まりのパターンである。

そもそも世界各国、国のために戦って亡くなった犠牲者に対し、尊崇の念を持って慰霊することを禁じている国がどこに存在すると言うのか？国内での議論ならまだしも、外国から言われる筋合いなど全くない。（内政干渉そのものである！）それを中国や韓国の力を借り、反日キャンペーンを張って我が国を貶めてきたのが朝日新聞に代表される左翼マスコミである。戦後日本の国益を損ね続けたその罪こそ「A級戦犯」に値するであろう。

この正月、今話題の映画「永遠の0」を観た。そして感動で涙が流れた。内容は先の戦争での特攻隊員にまつわる物語で、彼らの尊い犠牲の上に今日の我が国の繁栄がある事実に加え、「自分は何のために生きるのか？」を考えさせられる素晴らしい映画であった。

この靖国問題を考えるに当たり、かつてフィリピンのルバング島で孤軍奮闘し、奇跡的に生還できた「小野田寛郎」元陸軍少尉の次の言葉を、日本人として重く噛みしめたい。

「私は 15 年間、靖国神社に祀られていた身分です。そのままだったら今の日本の姿を知る由もなかった。国が靖国を護持しないというのなら、それは私たちに対する借金を返さず、未納のままだということです。また別の施設を造るということは私たちに対する裏切り行為です。とても許されることではありません。靖国参拝は当たり前のものであって、あれこれ言う人はもうどうでもいい。いやなら参拝は結構だと言いたい。そもそも、いろいろなわだかまりがあったから戦争になったのであって、それをわだかまりがないという方に無理があるのですから、綺麗事はどうでもいいのです。A 級戦犯が祀られているから、という意見を言う人もいますが、あの裁判は占領中に行われたことであり、彼らはその中で命を落とした人たちなのです。日本人は亡くなった人に対してそれ以上の罪を憎まないという習慣がある。しかし、中国は死んだ後でも罪人のままで、墓まで暴かれてしまいます。その中国の価値観を我々が受け入れなければならないのでしょうか。一度黙って、静かにお参りしてみたらどうですか。戦争で死んだ人は若い人が多かった。肉親が元気なうちは手厚く祀ってもらえるが、肉親がいなくなったあとに祀られる場所は靖国しかないのです。戦争は国がやったことですから、その責任を国がとるのは当たり前のことなのです。」

閑話休題。

東北楽天の田中投手がMLBに行くことになった。昨年の日本シリーズの最終戦、その前日、160 球という信じられない球数を投げながら敗戦投手となり、まさか翌日は投げないであろうとの予想を裏切り、自ら志願して最終回のマウンドに立った。

折から降り出した雨脚は徐々に激しくなり、最後はホームランが出れば一打同点の場面だったが、見事空振り三振に打ち取り歓喜の優勝を決めた。まるでその雨は東北の被災者の辛く苦しかった涙が、一転、嬉し涙に変わったように思える劇的な幕切れであった。

彼がどこに入団するのか今から興味津々ではあるが、潤沢な資金を有するヤンキースが最有力とも言われ、マリナーズその他多くの球団も獲得に乗り出すようである。

ヤンキースであれば黒田投手との 2 枚看板、マリナーズであれば岩隈投手との 2 枚看板となり、個人的にはこのどちらかのチームに入ってほしいと願っている。

思えばイチローがマリナーズ入団の 2001 年、松井がヤンキース入団の 2003 年、更には松坂がレッドソックス入団の 2007 年、いずれもシアトルのセーフコフィールドで、彼らの初々しい活躍ぶりを見ることができ、今でも強烈にその姿が目に焼き付いている。

昨年までは、シアトルに再び行く機会はないと考えていたのだが、近々決まる田中投手の入団先によっては、再び老体にムチ打って、4 度目のシアトル行きを決断せざるを得ない状況になるのかな？との思いが、チラリと頭をよぎる 2014 年の初めである。

以上